

内分泌代謝・膠原病・腎臓内科

第1週月曜日の集合場所： 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 医局
カンファレンススペース（柴田教授室前）

集合時間： 9時00分

※第1週月曜日が休みの場合： 火曜日に上記と同じ場所、時間に集合

クラークシップ・ディレクター： 柴田 洋孝 (FMC 32001)

アテンディング： 吉田 雄一 (FMC 32041)

チーフ： 福田 顕弘 (FMC 32398)

中田 健 (FMC 32036)

尾崎 貴士 (FMC 32017)

工藤 明子 (FMC 32011)

尾関 良則 (FMC 32197)

宮本昇太郎 (FMC 32015)

鈴木 美穂 (FMC 33009)

内田 大貴 (FMC 32397)

梅木 達仁 (FMC 32024)

野口 貴昭 (FMC 32626)

森田 真智子 (FMC 32517)

今石 奈緒 (FMC 33047)

児玉 尚吾 (FMC 32060)

丸尾 美咲 (FMC 32029)

内分泌代謝・膠原病・腎臓内科

【一般目標】

内分泌代謝、膠原病、腎臓疾患を診療するために、これまでに習得した医学知識や社会常識をもとに直接患者に接して病歴を聴取し、身体的所見を把握、総合的に疾患をとらえることにより、診断に至る思考過程を身につける。また症例提示の方法を学ぶ。

【行動目標】

- ① 糖脂質代謝異常を中心とした生活習慣病の予防と治療を理解する。中でも1型、2型糖尿病の鑑別を説明できる。
- ② 副腎疾患と内分泌性高血圧について理解する。
- ③ 機能性甲状腺疾患、中でも甲状腺中毒症の鑑別ができる。
- ④ 検尿の実施を通して、検尿異常の意義を把握する。
- ⑤ 腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全の病態を理解し、腎生検の適応を説明できる。
- ⑥ 腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）の適応と利点・欠点を説明できる。
- ⑦ 膠原病を含む免疫疾患の全体像を理解した上で個々の代表疾患の特徴を説明できる。
- ⑧ 膠原病治療の基本的な考え方を説明できる。
- ⑨ 代表疾患の一つである関節リウマチの診断方法や、鑑別疾患、治療などを説明できる。

内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座

第1週	月	火	水	木	金
9:00~10:00	オリエンテーション 9:00-30 担当：吉田、場所 医局	病棟実習	実践腎工一講座～自分の腎臓をみてみよう 9:00~10:30 工藤/内田、スキルスラボセンター	病棟実習	病棟実習
	甲状腺・レクチャー 9:30~10:30 担当 吉田、場所 医局	腎組織レクチャー1 9:30~10:30 担当：福田、場所 6東CR		腎組織レクチャー2 9:30~10:30 担当：福田、場所：医局	
10:00~11:00	病棟実習	膠原病 病棟実習 担当：梅木/首藤、6東CR	病棟実習	レクチャー 糖尿病合併症 10:30~11:30 担当：宮本、場所：医局	バックヤードツアー 検尿実習 9:30~12:00 担当：中田、6東CR
11:00~12:00	膠原病 レクチャー 11:00~12:00 担当：尾崎、場所 6東CR	病棟実習		病棟実習	

昼休み

13:00~14:00	病棟実習	病棟実習	病棟実習	総回診 場所：医局	病棟実習
14:00~15:00				Ca代謝異常・レクチャー 15:30~16:30 担当：尾関、場所 6東CR	
15:00~16:00		病棟実習			
16:00~17:00				臨床カンファレンス 不定期 場所：医局	

第2週	月	火	水	木	金
9:00~10:00	病棟実習	病棟実習	病棟実習	糖尿病の診断 9:00-10:00 担当：野口、場所 6東CR	病棟実習
			レクチャー 膠原病 関節炎診療の実際 9:30~10:30 担当：児玉、場所6東CR	膠原病 ケースカンファレンス 10:00~11:00 担当：尾崎、場所 6東CR	
10:00~11:00	病棟実習	透析レクチャー1（腹膜透析） 10:00-11:00 担当：鈴木、場所 医局	病棟実習	透析レクチャー2(血液透析) 11:00-12:00 担当：丸尾 場所 血液浄化センター	病棟実習
11:00~12:00		病棟実習			

昼休み

13:00~14:00	病棟実習	病棟実習	病棟実習	総回診	病棟実習	
14:00~15:00	内分泌・代謝 体験実習 14:00~15:00 今石/森田 6東スタッフステーション					病棟実習
15:00~16:00	病棟実習					
16:00~17:00	臨床カンファレンス 不定期 場所：医局					

場所 医局:8階奥、6東CR：病院6東カンファレンスルーム

学生による内分泌代謝・膠原病・腎臓内科実習の評価

講座名： _____ 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科 _____

実習期間： _____ 月 _____ 日～ _____ 月 _____ 日

学籍番号： _____ 氏名： _____

<選択肢>

5：強くそう思う（とても良い） 4：そう思う（良い） 3：どちらとも言えない（普通）
2：そうは思わない（余り良くない） 1：全くそう思わない（悪い）

A：実習プログラム、内容、指導医に対する評価

- ① オリエンテーションは実習を行う上で有用であった -----> (5 4 3 2 1)
② 到達目標、週間スケジュール表は役に立った -----> (5 4 3 2 1)
③ 指導医は丁寧に、親身になって指導してくれた -----> (5 4 3 2 1)
④ 指導医は患者・医師関係の規範となる態度を示してくれた --> (5 4 3 2 1)
⑤ 実習期間（2週間）は丁度よかった -----> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑥ 参加型実習として技能・態度を学ぶ機会が充分あった -----> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑦ 実習スケジュールは到達目標達成のために効果的だった --> (5 4 3 2 1)

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑧ 総合的にみて、実習は満足するものであった -----> (5 4 3 2 1)

B：実習態度に対する自己評価

- ① 信頼される髪型・服装・姿勢・態度をとることができた -----> (5 4 3 2 1)
② 無断欠席・早退せず、決められた時間を厳守できた -----> (5 4 3 2 1)
③ 患者を尊重し、良好な対人関係を築くことができた -----> (5 4 3 2 1)
④ 学習意欲を持ち、自ら調べ、指導医と議論することができた --> (5 4 3 2 1)
⑤ 診療チームの一員として、行動（診療参加）できた -----> (5 4 3 2 1)
⑥ 各場面で適切なプレゼンテーションを行うことができた -----> (5 4 3 2 1)

C：行動目標に対する自己評価

- ① 糖脂質代謝異常を中心とした生活習慣病の予防と治療を理解する。中でも1型、2型糖尿病の鑑別を説明できる。 (5 4 3 2 1)
- ② 副腎疾患と内分泌性高血圧について理解する。機能性甲状腺疾患、中でも甲状腺中毒症の鑑別ができる。 (5 4 3 2 1)
- ③ 検尿の実施を通して、検尿異常の意義を把握する。 (5 4 3 2 1)
- ④ 腎炎・ネフローゼ症候群・腎不全の病態を理解し、腎生検の適応を説明できる。 (5 4 3 2 1)
- ⑤ 腎代替療法（血液透析・腹膜透析・腎移植）の適応と利点・欠点を説明できる。 (5 4 3 2 1)
- ⑥ 膠原病を含む免疫疾患の全体像を理解した上で個々の代表疾患の特徴を説明できる。 (5 4 3 2 1)
- ⑦ 膠原病治療の基本的な考え方を説明できる。 (5 4 3 2 1)
- ⑧ 代表疾患の一つである関節リウマチの診断方法や、鑑別疾患、治療などを説明できる。 (5 4 3 2 1)

D：全体評価（自由記載欄）

以下の3項目について記載してください。（3項目とも記載をお願いします）

- 1) この実習で良かった点は何ですか。
- 2) この実習で改善してほしい点がありますか。
- 3) この実習で印象に残ったことは何ですか。

お疲れ様でした。

指導医による学生の評価

講座名： 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科

実習期間： 月 日～ 月 日

学籍番号： _____ 氏名： _____

【 評価表 】

1. 時間管理

- ・無断欠席はないか（これがあれば1か2）
- ・決められた時間に余裕を持って正確に対応しているか

指導医サイン	
--------	--

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

2. 服装・態度、実習に対する姿勢

- ・医師に相応しい髪型・服装で実習しているか
- ・全ての人に対して真摯な態度で接しているか
- ・自分のエラー・落ち度を真摯に認めるか

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

3. 医師・患者関係

- ・患者さんの訴えに傾聴し、態度と言葉で共感しているか
- ・患者さんに敬意を表し、人格を尊重する姿勢を示しているか
- ・患者さんとの適切な対人関係を構築できているか

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

4. 実習に際しての学習態度

- ・学習意欲を持ち、課題に対して自ら学習する姿勢がみられたか
- ・事前に疾患・診療に関する基本事項の復習を行っているか
- ・積極的に指導医に質問し議論することができたか

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

5. 医療チームの一員としての診療態度

- ・医療チームの一員として行動（診療参加）できたか
- ・全ての医療従事者に敬意を示し、適切な関係を保っているか
- ・他人の意見を尊重できているか

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

6. 問題解決・プレゼンテーションスキル

- ・問題点・対応等を指導医に報告して検討しているか
- ・プレゼンテーションは適切か（日々の報告、カンファレンス等）
- ・臨床課題の解決に、文献・エビデンスを適応できているか

	poor	fair	good	very good
評価	(1, 2, 3)	(4, 5, 6)	(7, 8)	(9, 10)
	↓ ボーダー			

7. 全体評価（全体を通しての評価）

（指導医あるいは指導責任者が総合評価し、点数に○印をつけてください。）

可否	再実習・不可												合格								
点数	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

再実習・不可の場合の理由

(_____)

指導責任者 印	
---------	--

8. 次の実習先指導医へのメッセージ

（特に、学習者に対し、各科連携して指導して改善していきべき事項がありましたら記載してください）

(_____)